

## パブリックコメントについて

## 1 実施期間

平成 26 年 11 月 25 日（火）～平成 26 年 12 月 24 日（水）

## 2 意見提出件数

2 件

## 3 パブリックコメントの内容及び市の考え方

## 意見 1

- 第 1 章.教育・文化部門－第 1 節.学校教育の充実－ 1.学校教育の内容について  
「ボランティア体験学習の推進」「地域の歴史・自然教育の推進」「異文化交流による姉妹校縁組の推進」の取組を検討してほしい。
- 第 1 章.教育・文化部門－第 1 節.学校教育の充実－ 2.学校と地域・家庭との信頼関係について  
「家族や地域の人々と一緒に工場見学や自然観察をする時間の確保」の取組を検討してほしい。
- 第 2 章.産業・観光部門－第 4 節.観光の振興－ 2.宿泊・観光施設の整備について  
江田島市には、他所にない博物館（例：牡蠣博物館）があれば、市のイメージアップは計り知れないものとなると信じます。  
※米国には、どんな小さな町や村にも必ず一つは博物館があり、それを PR して観光客を集めている所が沢山あります。
- 第 6 章.基盤部門－第 2 節.生活基盤の整備－ 5.情報通信基盤の整備について  
「避難指定場所への情報インフラの整備」の取組を検討してほしい。
- 第 6 章.基盤部門－第 3 節.生活交通の確保・充実－ 1・2.海上交通・陸上交通の確保・充実について  
海上交通と陸上交通の連携をしてほしい。  
※各種交通機関の利用者の減少は、バスと船との連携の悪さが原因と思います。時刻表を変更する時には、必ず市に報告をさせ、互いに連絡できる所はさせて、住民の利便性を図るよう指導してほしい。
- 第 7 章.地域部門－第 2 節.コミュニティの振興－ 1.自治会等の地域活動への支援について  
地域の自治会活動が縮小するのは、高齢化だけでなく、活動資金の少なさも原因と思います。市からの依頼業務は増すばかりで、余程のボランティア精神を持っていないと先細りすると思います。

○第7章.地域部門－第2節.コミュニティの振興－2.国際化・多文化共生の推進について  
市外の外国人及び外国人留学生を各種イベントへ招待したらどうかと思います。

## 第2部.未来を切り開くまちづくりプロジェクト

○第4節「また来たい島」.プロジェクト－3.交流定住の条件整備について

＜特に沖美町是長の別荘地区＞

現状は、上下水道自己負担、TVが映らない（地デジ組合加入のための工事費は最低13万円）、ゴミステーションまでの距離が遠い、携帯電話も繋がりにくい状況があります。

対策として、上下水道・地デジ組合加入工事費の一部補助、市によるゴミステーションの積極設置等の支援策が必要と思います。

このままでは、他の市町への移住者は増加し、江田島市への移住は望めないと思います。

## 市の考え方

○体験学習、自然教育、異文化交流等については、教育・文化部門において、自然体験活動等の体験活動、グローバル化への対応を、主な取組に盛り込んでいるところです。

頂いた御意見については、実施内容の詳細を精査する際の参考とさせていただきます。

○また、牡蠣博物館などの集客施設については、宿泊関連施設の整備を優先して検討しているところです。他の新たな集客施設の整備については、費用対効果や財政状況等の観点を踏まえつつ、頂いた御意見を参考に、今後、議論・検討してまいります。

○また、避難指定場所への情報インフラの整備については、主な取組に盛り込んでいる防災資機材の整備において、非常時の通信手段の確保を図ってまいります。

○また、地域公共交通については、あり方に関する計画の策定を、主な取組に盛り込んでいるところです。その計画において、海上交通、陸上交通の連携について併せて検討してまいります。

○その他にも、様々な分野に関して御提案頂いております。これらの取組の具体化については、費用対効果や財政状況等の観点を踏まえた議論を経る必要があると考えますので、頂いた御意見を参考に今後検討し、反映できるものは、実施計画の随時見直しの際に盛り込んでいきたいと考えております。

## 意見 2

人材誘致（人的資源）と名画等展示で理想郷の実現

○抜群な自然環境とロケーション「海の見える丘美術館」を沖美支所跡地に創設しよう！  
文化豊かな成長を！全国から視察客等流入者増を目指す！

江田島市には常設の美術館が無いので、文化芸術作品の鑑賞をする事が出来ない。

このことは江田島市の文化芸術の進展・成長を促すにはなかなか困難と考えられる。

常設の美術館等があれば、市美術展作品の展示、その他市民の皆さんの作品、保・小・中・児童生徒の作品の展示ができる。

このことにより、文化活動が活発になる。

○沖美町には東京芸術大学出身の方がいる。

この方は、江田島市のために最善の力を提供すると言われている。

この方の人脈と力を借りて、人文墨客・芸術家等の優秀な人材誘致を図り、創作活動と作品展示を行う。

文化・学術・芸術の振興は都市の建設計画の中で重要な柱「恵み多き島えたじま」実現に向けて重要な位置を占める事となる。

魅力あるまちづくりの中で、何かが形成されれば、人は集まり、町は豊かに成長していくものと考えられ、夢とロマンのある町が実現できます。

優秀な人材と文化の薫る町が出現したら、内容の濃い魅力溢れる町が出来る。

住んでみたい町が実現し、町並みに変化が起こるニュービジネスが発生し、若者が集まってくる。

○香川県の直島は 3,000 人の島であるが、観光客が 100 万人来島すると言われている。

その観光目的のメインは島にある地中美術館と展示されている絵画等といわれている。

○全国から視察客・観光客等の来島者が増え、江田島市が活気ある、産業の栄えた、全国でも注目される市となってほしい。

## 市の考え方

○文化芸術の振興については、教育・文化部門において、文化芸術を鑑賞する機会の確保を主な取組に盛り込んでいるところです。美術館の設置については、費用対効果や財政状況等の観点を踏まえつつ、頂いた御意見を参考に、文化・芸術の具体的な振興策とともに今後、議論・検討し、反映できるものは、実施計画の随時見直しの際に盛り込んでいきたいと考えております。